

縁側のある家

木造 2 階建て

延床面積 132.23 m² (40.01 坪)

建築主のOさん夫妻は、生まれ育った自然がいっぱいの環境に「住まい」を求められました。家族の新しい家、開放的で太陽の光や通風など自然のめぐみを利用した居心地の良い「こだわりの住まい」づくりがOさん夫妻と始まりました。

ご夫妻の住まいへの想いを託した要望書を頂きました。それには「自然素材を使った、明るくて風通しの良い家」など家全体のこと、各部屋の使い方とそこで使用する生活用具や家具のこと、設備や空間への要望など、これからの家族の暮らし方がつづられていました。

会話を重ね、暮らしぶりを想定し、日本家屋の開放的で融通性のある空間構成のよさを取り入れた、作り過ぎない家を提案しました。

ほとんどの構造材が現しで、身近な三重県産材で建てました。



外観



縁側より食堂を見る

生活の中心となる食堂、台所、居間、縁側はワンルームとして広く、また季節によってあるいは必要に応じて自由に仕切って使える。



居間・食堂を閉じた時の縁側



台所



深い軒とバルコニー



2階ホールより縁側上部を見る



台所より食堂を通して居間を見る